

＜学校教育目標＞

「夢や志を持ち、たくましく学び続ける子の育成」

課題

- ・体験不足 ⇔ 語彙力不足
- ・きく力（理解する力）
- ・自分の思いを伝える力
- ・伝え合い、深め合う力

新学習指導要領

- ◇「何が出来るようになるか」
- ◇「どのように学ぶか」

主体的・対話的で

深い学び

小野市小中一貫教育

- キャリア教育
- 授業改善・学力向上
- 情報活用能力の育成*未来への道を切りひらく力の育成

＜研究主題＞

「言葉を通して考えを深め、自分の思いを表現する子をめざして」
～確かな国語力を積み重ねる授業づくり～

＜授業においてめざす子どもの姿＞

- 自ら課題意識を持ち、進んで課題に関わろうとする。
- 教科書の「手引き」や「たいせつ」「リード文」をもとに学習計画を立て、確実に基本の力を身につけ、積み重ねていく。
- 既習事項や既有経験を活用して、自分の考えを自分の言葉で表現する。
- 考えを交流するなかで、自分との相違点に気付いたり、互いの考えのよさを認めたりする。
- 言葉を大切にしながら、学習したことを自己表現や生活にいかそうとする。

◎今年度の重点課題（具体的な取組、手立て）

- ① 子どもたちの効果的な関わり合い（各教科）
 - ・対話の仕方を共通理解し、全員で実践していく。
- ② 子どもたちの思考を深める手立て、教師の働き
 - ・発問 ・板書 ・ノート、ワークシート
- ③ 何が出来るようになるかを意識した授業
 - ・単元計画の作成（各学年）
教科書の「手引き・リード文・たいせつ」から、子どもたちが身につけるべき力を捉え、単元計画に反映させていく。

◇部会

研修委員会・学力向上委員会
（研修部+各学年代表 1名）

○低学年部会

○中学年部会

○高学年部会

○特別支援部会

◇国語を中心教科とし、各教科等の指導のなかで、言語活動の充実を図る。